

目次

□巻頭言 公共投資の展望……………藤吉三郎/1

□昭和57年度官庁の事業概要(2)~(6)

運輸省港湾関係事業の概要……………佐々木慶伍/3

運輸省空港整備事業の概要……………須野原豊/6

日本国有鉄道設備投資計画の概要……………吉川泰弘/9

日本鉄道建設公団の事業概要……………清水六三郎/11

農業基盤整備事業の概要……………岡本芳郎/13

東北新幹線建設の施工技術の回顧……………高山昭/17

マレーシア・ケネリンダムにおける
仮設プラント計画の実例……………角田憲介/23

竹原火力発電所3号機屋内貯炭場の建設……………橋本龍男
内山好貞雄/32

グラビア——竹原火力発電所屋内貯炭場の建設状況

□随想 水力現場のキャンプさまざま……………丸山昭平/40

長大放水路トンネルの施工……………北村邦雄
——佐久間第二発電所新設工事……………伊藤勝章/42
小菅正敏

長大斜坑における導坑掘削——今市発電所水圧管路……………深代忠雄/51

リボンスクリュー式泥漿シールドによる
崩壊性大径れき層の掘進……………山内義一
富鶴内来正/56
鶴谷武憲

北越北線鍋立山トンネルの防爆施工……………黒垣久幸/61
内幸雄

縫地ボルト工法、立坑 NATM の施工……………永井隆吉
——多摩ニュータウン三沢川分水路 A-1 工区……………船越敬一/70

□新機種ニュース……………調査部会/77

□文献調査
4輪駆動トラックの軸トルク分布……………文献調査委員会/81

□整備技術
トラックの選択と維持——トラックの使用状況、購入、維持方法……………整備技術部会/83

□統計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会/85

行事一覧……………/86

編集後記……………(高橋・森谷)/88

◀表紙写真説明▶

川崎小型ロータリドリル

KRD 50

川崎重工業株式会社

本機は、すでに販売中の大型ロータリドリル KRD 110 と同様に石灰石鉱山を対象とした回転式せん孔機であり、打撃式ドリルに比べ次のような利点がある。

① 運転室内ですべての作業(走行、位置決め、せん孔、ロッドチェンジ等)ができるためオペレータの作業環境が大幅に改善されている。

② 打撃音がないので騒音が低い(オペレータ耳元 82 dB)。

③ 粉塵はすべて集塵機(バグフィルタ式)に吸引される。

◀主要諸元▶

せん孔径……………	70~95 mm
ロッド長……………	4,500 mm
ロッド径……………	60 mm, 76 mm
収容ロッド数……………	5本
総重量……………	10,000 kg
押付力/引抜き……………	4,500 kg/4,500 kg
回転トルク……………	310 kg-m